

令和 元年 11月 14日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
 会長 小川郁男 様

施設名 いこいの家
 氏名 原 宏美

研修会報告書

研修会名	令和元年度 第2回 栄養関係職員研修会				
日時	令和元年 10月31日(木) 10:00~16:30				
会場	埼玉県県民活動総合センター セミナーホール1				
講師	埼玉県栄養士会福祉事業部 榊原 直子氏/医療事業部 前川 哲雄氏 ハートケア東大宮 管理栄養士 竹原 育子氏/なでしこ 管理栄養士 中務 律子氏				
参加人数	57名(51名+研修メンバー6名)/定員100名				
研修委員 (氏名・施設名)	村松 昭信(鶴寿の里ナーシングホーム)・和多 勝弘(みどりの杜) 石井 亜由子(高齢者ケアセンターゆらぎ)・野村 知恵子(エルサ上尾) 角田 幸穂(ケア・ビレッジ・シャローム)・原 宏美(いこいの家)				
研修会のテーマ	「医療保険・介護保険の栄養士が携わる加算について」 「栄養士主体による地域連携発展地域での実例報告」				
研修会の評価	アンケート回収枚数	43 枚	3. グループワーク	3.9 / 5	
	1. 研修内容と目的の一致	3.8 / 5	4. 研修会の進め方	3.8 / 5	
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	～総合評価点～	23 / 30
		②	4 / 5		
③		4 / 5			
④		/ 5			
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)				
	今回の研修会では、午前に埼玉県栄養士会から介護保険の栄養関係の加算について、医療、介護間の地域連携について講義、午後に事例発表(再入所時栄養連携加算、地域連携、嚥下ピラミット)、グループワークと盛りだくさんの内容であった。				
	事例発表では、再入所時栄養連携加算算定についての取り組み方を学び、病院との連携の必要性を感じた意見が多かった。グループワークでは、地域連携しやすいように、人数にはバラつきはありましたが、近い施設同士でグループを組んだ。テーマは分かりづらいとの意見がありましたが、情報交換や他施設の状況を聞くことができ、日々の業務に活かしていけるので、今後も続けてほしいと好評でした。				
	研修内容がたくさんあったためか、もう少し一つ一つをゆっくり詳しく聞きたかったとの意見があった。				
	また、今回研修会が月末であり、出来れば月末は避けてほしいとの意見もあった。次回の研修会の内容検討時に活かしていきたい。				

* アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。